

今日のゴール

1 売上・仕入の基本的な一連仕訳を理解する

SECTION 01~05

2 売上原価を算定できるようになる

SECTION 06

## この授業で主に登場する勘定科目

売上 収益 貸方 (右)

仕入 費用 借方 (左)

繰越商品 資産 借方 (左)

売掛金 資産 借方 (左)

クレジット売掛金 資産 借方 (左)

買掛金 負債 貸方 (右)

前払金 資産 借方 (左)

前受金 負債 貸方 (右)

立替金 資産 借方 (左)

## SECTION 01

## 三分法

実務的にも簿記の試験でも、商品売買の仕訳は三分法により行います。

三分法とは

仕入・売上・繰越商品の3つの勘定科目を使って商品売買を記録する方法。

勘定科目	分類	使うタイミング
仕入	費用 (P/L)	商品を購入したとき
売上	収益 (P/L)	商品を販売したとき
繰越商品	資産 (B/S)	決算時に期末在庫を振り替えるとき

## SECTION 02

## 仕入・売上

仕入は販売する商品を購入するときに使う勘定科目、売上は商品を売ったときに使う勘定科目です。

## ① 現金による仕入・売上

例1 | 商品10,000円を現金で仕入れた

借方 (左)		貸方 (右)	
仕入	10,000	現金	10,000

例2 | 商品15,000円を現金で売り上げた

借方 (左)		貸方 (右)	
現金	15,000	売上	15,000

## ② 掛けによる仕入・売上

掛けとは

代金を後払いにする取引。仕入側は買掛金（負債）、売上側は売掛金（資産）が発生する。

例3 | 商品10,000円を掛けて仕入れた

借方 (左)		貸方 (右)	
仕入	10,000	買掛金	10,000

例4 | 商品15,000円を掛けて売り上げた

借方 (左)		貸方 (右)	
売掛金	15,000	売上	15,000

## ③ 前払金・前受金

前払金・前受金とは

商品の引渡し前に代金の一部（手付金）をやりとりする場合に使う。

支払った側は前払金（資産）、受け取った側は前受金（負債）として処理する。

例5 | 商品購入前に手付金3,000円を現金で支払った

借方 (左)		貸方 (右)	
前払金	3,000	現金	3,000

例6 | 商品10,000円の引渡しを受け、残額7,000円を現金で支払った

借方 (左)		貸方 (右)	
仕入	10,000	前払金	3,000
		現金	7,000

## SECTION 03

## クレジット売掛金

クレジットカードで販売した場合、代金はカード会社から後日入金される。通常の売掛金と区別するため**クレジット売掛金**を使う。

## 支払手数料の計上タイミング

カード会社への手数を**支払手数料（費用）**として**販売時か回収時**どちらで計上するかは、問題文に明示されている。問題文の指示に従うこと。

例1 | 商品10,000円をクレジットカードで販売した（手数料3%は販売時に計上）

借方（左）		貸方（右）	
クレジット売掛金	9,700	売上	10,000
支払手数料	300		

手数料300円（10,000×3%）を差し引いた金額でクレジット売掛金を計上

例2 | カード会社から手数料300円を引かれた残り9,700円が普通預金に振り込まれた（手数料は回収時に計上）

借方（左）		貸方（右）	
普通預金	9,700	クレジット売掛金	10,000
支払手数料	300		

## SECTION 04

## 付随費用

仕入・売上に付随して発生する発送費などの取り扱い。**誰が負担するか**によって処理が変わる。

## ① 仕入時の発送費（当社負担）→ 仕入に加算

当社が負担する発送費は仕入金額に加算して処理する。仕入れにかかる発送費は仕入れという事実がないと生まれないため含めて計上する。

例1 | 商品10,000円を掛けて仕入れ、発送費500円を現金で支払った（当社負担）

借方（左）		貸方（右）	
仕入	10,500	買掛金	10,000
		現金	500

## ② 仕入時の発送費（相手負担）→ 立替金

相手が負担すべき発送費を当社が立て替えた場合、**立替金（資産）**で処理する。

例2 | 商品10,000円を仕入れ、相手負担の発送費500円とともに現金で支払った

借方（左）		貸方（右）	
仕入	10,000	現金	10,500
立替金	500		

## ③ 仕入時の発送費（相手負担）→ 買掛金の減少

掛け取引の場合、相手負担の発送費を立て替えた分を買掛金から差し引くこともできる。

例3 | 商品10,000円を掛けて仕入れ、相手負担の発送費500円を現金で支払った

借方（左）		貸方（右）	
仕入	10,000	買掛金	9,500
		現金	500

## ④ 売上時の発送費（当社負担）→ 発送費

売上に関連して当社が負担する発送費は**発送費（費用）**として計上する。

例4 | 商品10,000円を売り上げ代金は掛けとした。発送費800円は現金で支払った

借方（左）		貸方（右）	
売掛金	10,000	売上	10,000
発送費	800	現金	800

## SECTION 05

## 仕入・売上の返品

返品が発生したときは**元の仕訳の逆仕訳**を行う。

## ① 仕入返品

例1 | 掛けて仕入れた商品2,000円を返品した

借方（左）		貸方（右）	
買掛金	2,000	仕入	2,000

## ② 売上返品（返品を受けた）

例2 | 掛けて販売した商品2,000円の返品を受けた

借方（左）		貸方（右）	
売上	2,000	売掛金	2,000

**売上原価** ※決算整理で改めて授業します

売った商品の仕入金額を**売上原価**という。(売上に直結する仕入)

**具体例**

1,000円で仕入れた商品を1,500円で売った場合

- ・ **売上** = 1,500円 (販売価格)
- ・ **売上原価** = 1,000円 (仕入原価)
- ・ **売上総利益** = 500円 (売上 - 売上原価)

**在庫の流れと売上原価の関係**

在庫の流れと売上原価の関係 (個数でイメージつける)

**売上原価の計算式**

$$\begin{aligned} \text{売上原価} &= \text{期首在庫} + \text{当期仕入} - \text{期末在庫} \\ &= 100\text{個} + 800\text{個} - 200\text{個} = 700\text{個分} \end{aligned}$$

試験では金額で考える

**しいくりくりしい (決算整理仕訳)**

三分法では仕入時に「仕入」と計上するのみで在庫の増減が反映されない。そこで決算時に繰越商品を使って2つの仕訳を行い、正確な売上原価を算出する。

この2つの仕訳を語呂合わせで「しいくりくりしい」と呼ぶ。

**① しい→くり (期首在庫を仕入に振替)****仕入 / 繰越商品**

期首に持っていた在庫は「すでに販売した商品」として仕入に加える

**② くり→しい (期末在庫を繰越商品に振替)****繰越商品 / 仕入**

期末に残った在庫は「まだ売っていない分」なので仕入から除く

**しいくりくりしい 例題****前提データ**

期首繰越商品：1,000円 / 当期仕入高：8,000円 / 期末繰越商品：2,000円

**① しいくり | 期首の繰越商品 (1,000円) を仕入に振り替える**

借方 (左)		貸方 (右)	
<b>仕入</b>	1,000	<b>繰越商品</b>	1,000

**② くりしい | 期末の在庫 (2,000円) を繰越商品に振り替える**

借方 (左)		貸方 (右)	
<b>繰越商品</b>	2,000	<b>仕入</b>	2,000

この2仕訳後の「仕入」勘定残高 = 売上原価

$$\text{当期仕入 } 8,000 + \text{期首在庫 } 1,000 - \text{期末在庫 } 2,000 = \text{売上原価 } 7,000\text{円}$$

しいくりくりしいをすることで、売上に直結する原価を算定できる。

**今日のまとめ****1★ 売上・仕入の基本的な一連仕訳を理解する**

現金・掛け・前払金/前受金 で処理が異なる

付随費用：当社負担の仕入発送費は仕入加算 / 売上発送費は発送費 (費用)

**2 売上原価を算定できるようになる**

$$\text{売上原価} = \text{期首在庫} + \text{当期仕入} - \text{期末在庫}$$